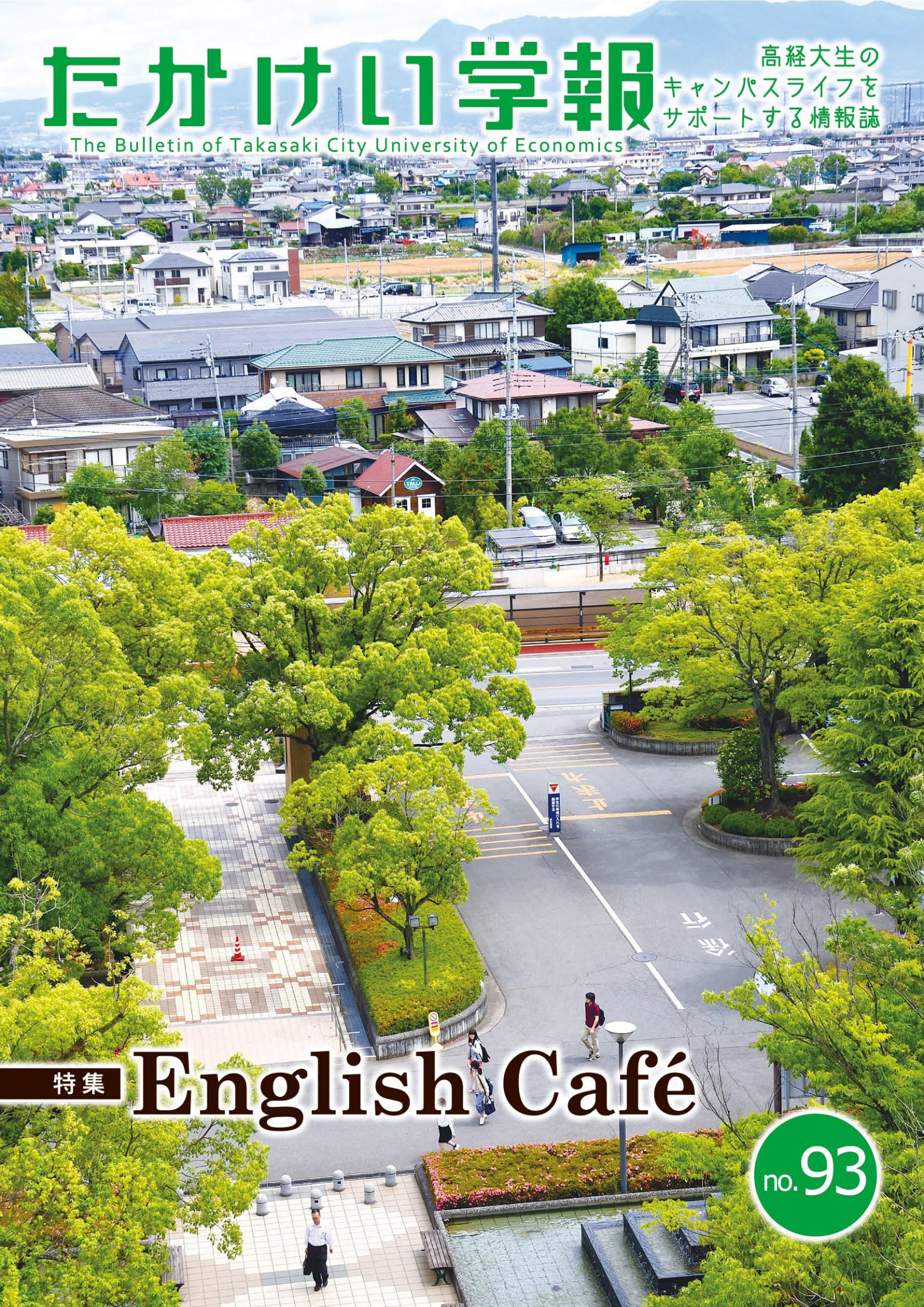


# たかけい学報

高経大生の  
キャンパスライフを  
サポートする情報誌

The Bulletin of Takasaki City University of Economics



特集

## English Café

no. 93



## CONTENTS

- 1-3 特集①「English Café」
- 4 特集②「絲山秋子先生」
- 5-6 研究室紹介  
 ・経済学部 矢野修一  
 ・地域政策学部 片岡美喜
- 7-8 学生クローズアップ！  
 放送研究会 高橋誠也さん
- 9 就職活動の実情
- 10 入学式  
 「高崎経済大学に入学して」多田隼輔さん
- 11-12 新任教員紹介
- 13 倶楽部紹介  
 ・体育会 no.76  
 「水泳部」栗原葵さん  
 ・文化サークル協議会 no.77  
 「グリークラブ」風間洋佑さん
- 14-15 たかけいINFORMATION

特集

# English Café

English Café は、授業時間外に実践的英語コミュニケーションの場を学習者へ提供するために2013年度後期より試験的に導入され、2014年度前期より本格的に実施しています。授業とは異なり、コーヒーなどを飲みながら、リラックスした雰囲気の中で英語を利用し時事問題、経済・金融問題、音楽や映画といった芸術文化などにおよぶ事柄について参加者同士が楽しく語り合います。

English Caféはグローバル化に対応できる、英語習熟度の高い人材を育成すると共に、学習者の主体的学修の支援を目的としています。

English Caféに参加したいけれど、自分の英語力が不安だったり、少し恥ずかしいと思っている方もいるかもしれません。しかし、ご安心ください。English Caféでは、講師の先生全員が、英会話学校で教えている洗練された職業講師です。ユーモアが、英会話学校で教えている洗練された職業講師です。ユーモアが、英会話学校で教えている洗練された職業講師です。1人ではたっぷりに、楽しく英語が学べることをお約束します。1人ではちょっと気恥ずかしい方は、友達を誘って参加もOKです。入れたてのコーヒーを飲みながら、ネイティブ講師との会話をお楽しみください。入退は自由です。

後期開設期間 2015年9月28日(月)～2016年1月26日(火)  
 開設時間 毎週月・火・木・金 13:30～17:15  
 場所 7号館2階ラウンジ

担当講師紹介

Lecturer Introduction



Monday: Matt

My name is Matt. I'm from Derbyshire, England. I came to Japan in 2000, and I live in Numata. I have a master's degree in math from Birmingham University. My hobbies include Chinese calligraphy, reading and gardening. My interests include art, science, current affairs, history, classical literature, linguistics and sport.



Tuesday: Beau

How's it going? My name is Beau. I'm from Atlanta, Georgia, in the United States. I like to write, record, and listen to music. I have a degree in Computer Science. I lived in Korea for a few years before moving to Takasaki 2 years ago. Please join me on Tuesdays sometime.



Thursday: Heather

Hi ya'!!! My name is Heather Dobbin, and I'm from Atlanta, Georgia. I love teaching English because I think it will help bring world peace. My hobbies are reading, doing yoga, studying Japanese, traveling, cooking, knitting, sewing, and making jewelry. My motto is, "Be curious about yourself."



Friday: Patrick

I was born in England, but I grew up in France. I studied Politics and History at University. I enjoy reading and listening to music. I love watching rugby on TV, and I'm looking forward to the Rugby World Cup this summer. I have lived in Takasaki since October 2014.

経済学部3年 古川 貴大

アルバイト先に外国のお客様がいらっしゃったときに、英語で対応できずぶがいない思いをしたことがきっかけで、English Caféに参加することにしました。最初は緊張してあまり話もできませんでした。講師の方に助けていただき、また、わずかな時間でも毎日参加するようにしていたら、段々と英会話らしくなっていました。

最近では、「英語はあくまで会話」だということに気づきました。当初は文法や正しい単語が分からないので黙ってしまうようなことがありましたが、講師の方は、正しい英語を聞きたいのではなく、私の考えを聞きたいんだということがわかりました。English Caféの講師の方は、ネイティブであることはもちろん、私たちより少し大人の世代の方なので、彼らの人生観や出身国による価値観などを聞くことができ、多様性を学ぶ場にもなっています。

また、カジュアルな雰囲気で行われているので、気恥ずかしい感じもなく英語で発言することができます。参加者の中には、すごく英会話の上手な方もいて、自分ももっとうまくなりたいなと感じることも多いです。

英会話は、継続することが大事だと思うので、これからもできる限りEnglish Caféに参加して、アルバイト先や街で外国の方に話しかけられても、臆せず話せるようになれればと考えています。



教員から

第二言語習得論のとのある研究では、「効果的に語学学習を行うには、インプット7割、アウトプット3割が理想」と報告されています。そこで、大学の授業やe-Learningなどでインプットを、そしてEnglish Caféでアウトプット練習をしてください。English Caféを担当している先生方(エムズ英会話所属)は英会話の指導に長けているのはもちろんですが、ポップカルチャーの話題や欧米のカードゲームなどを行い、通常の授業とは異なる活動を行っています。是非、English Caféを利用して、英会話を実践し「国際的志向性」を育てグローバル人材を目指してください。(地域政策学部 高橋栄作)



地域政策学部では、専門基礎科目の中に、「グループ研究」という講義科目を設置している。この講義は地域の内外で活躍する方を講師に招き、講師の活動・取り組み等をテーマに、ゼミナール形式で運営し、活発な議論を誘発していただくことを目的としている。

絲山先生にはその「グループ研究」の1つのクラスを持っていただいている。絲山先生は、言わずと知れた芥川賞作家である。そしてその受賞暦は華やかである。まず作家活動を開始した翌年の2003年には「イツ・オンリー・トーク」で第96回文学界新人賞を受賞し、

同時に早くも芥川賞候補になっている。翌2004年には「袋小路の男」で第30回川端康成文学賞を受賞。さらに翌2005年には「海の仙人」で第55回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞し、2006年に「沖で待つ」で第134回芥川賞を受賞している。続けざまの受賞である。その著作は20作品にも及び、最新刊の『離陸』(文芸春秋社)では、時空を超えて展開する愛と死と人生の長編にチャレンジしている。

話を「グループ研究」に戻そう。先生の講義のテーマは「インタビューの方法」である。講義は、ある人物の名前から人物像を想像する「名前実習」、記者会見を通して人物の姿を掘り下げる「記者会見インタビュー実習」、取材内容の高度化を学ぶ「インタビュー実習」から構成される。先生は、学生自ら講義の成果を紹介するパネル展示の中で、次のようにのべている。学生たちとの自由で、しかし緊張感のある講義風景が思い浮かぶ。

「『いい質問をすればいい答えが返ってくる』これは私が小説家として、職業取材を重ねていくなかでいつも感じることです。取材がどのように小説に取り入れられていくのか、目に見えないイメージがどうやって共有されるのか、どうしたらインタビューでたくさんの情報を得ることができるのか。少人数クラスのこの授業では、さまざまな例をあげながら一緒に考え、また小さな実習を重ねてきました。

その成果としての、二つのグループによる講師へのインタビューのまとめをここに展示いたします。うまくいった部分も、そうでない部分もありますが、いい意味での緊張感と集中力が発揮されたと思います。テーマ設定や内容、まとめ方については、学生たちに任せました。

『事実、思考、疑問』という科学の基礎は、社会科学にとっても、文学にとっても大切です。この授業が学生たちの今後の研究や仕事、暮らしの役に立てばいいと思います。」

先生は毎回の講義を大切に、そして学生との会話を本当に楽しんでいる。そんな熱い、しかも普通は経験できない芥川賞作家の絲山先生の講義だ。高崎経済大学の新しい大きな魅力である。

追記

本稿執筆後に、絲山先生が公立大学法人高崎経済大学の理事に就任されたというニュースが舞い込んできた。より良い大学にするため、ともに努力していければ幸甚である。(副学長 村山元展)





# 経済学部

教授 矢野 修一

## 1. 25年目を迎えて

1991年4月、本学に着任し、今年で25年目を迎えました。気がつけば、大学で5番目、経済学部の教員の中では2番目の古株になっています。早いものです。

「社会科学の目的は、戦争と貧困の撲滅にある」「社会科学としての経済学は、みんなが飢えない社会、安心して暮らせる世界をどうやって作り上げていくのかという問いに答えるために存在している」、担当する世界経済論、アジア経済論、開発経済論では、こうした思いを胸に、戦後国際経済体制、南北問題、アジア通貨金融危機以後の東アジア経済協力、リーマンショック後のグローバル・ガバナンスなどを講義してきました。

「戦争と貧困の撲滅」という点からすると、今の日本では非常に危険な空気が漂っています。講義をする声にも一段と力が入ります。

## 2. ゼミの様々な課題と活動

2年後期の基礎演習では、世界経済に関わる基本的文献を輪読しています。3年では、原書講読、他大学とのディベート・合同ゼミ、TOEICチャレンジ(730点以上は矢野修一ポケットマネーによる寿司屋ご招待!)、就活文庫(キャリア形成・労働問題関連書籍)の輪読などが主な課題です。4年次に上がる時、約1万2000字の進級論文があり、最後は各自4万字程度の卒業論文を書いて、同期生とともに卒業論文集『経済学研究年報』(22号まで既刊。写真参照)をまとめることになっています(最近では3年次の新たな課題として、日本企業のケーススタディ、本社訪問・インタビューが加わりました)。

春・夏合宿、追いコン合宿、各種コンパやスポーツイベントは、各学年合同で行われますから、当然ながら、ゼミ生の「タテとヨコ」の関係は深まります。

## 3. ゼミ卒業生

2015年3月でゼミ卒業生は22期、合計298人となりました。卒業時の進路として多い順にあげれば、一橋大学大学院(10)、京都大学大学院(9)、日本銀行(7)、東京大学大学院(5)、群馬銀行(5)、日本年金機構(4)、名古屋大学大学院(3)、前橋市(3)、明治安田生命(3)となります。大学院進学者は本学のゼミで一番多いでしょう。エントリーシートの添削や模擬面接、各種の相談など、いろいろな機会に卒業生が現役生の就活をサポートしてくれますので、指導教員としては非常に心強いです。

2年ごとに、現役生・卒業生が一堂に会するゼミ総会を行っています。タテ・ヨコの関係が強いからです、毎回、100名以上が集まります。最近では家族連れも多いですね(写真参照)。

## 4. むすびにかえて

時代の風潮、権力者の甘言に惑わされることなく、自分の頭で考え、行動することがますます重要になっています。次世代を担う若者とともに、これからも「社会科学」の研究、そして教育に励みます。

### ■プロフィール

1960年生まれ。京都大学博士(経済学)。主著に『可能性の政治経済学』(2004年)、翻訳書として『ストレンジ』(1989年)、ハーシュマン『離脱・発言・忠誠』(2005年)、同『連帯経済の可能性』(2008年)、ヘライナー『国家とグローバル金融』(近刊)などがある。



# 地域政策学部

准教授 片岡 美喜

## 1. 自己紹介

私は2006年4月に本学に赴任しました。愛媛県松山市で生まれ、愛媛大学大学院連合農学研究科にて学び、就職に際して初めて愛媛県外で暮らすことになりました。以来、高崎で暮らして10年余りになりますが、今では大事なホームタウンです。

専門は農業教育、そして農業・農村分野から教育や福祉、生活支援事業等に取り組む事業体への成立条件に関する研究です。

担当科目は、観光資源論、エコツーリズム論、地産地消・スローフード論です。本学部の性質と私の専門を併せて、経済発展と環境保全の両立を目指す「持続可能な観光」のあり方や、地域資源の保全と活用を目指す地域内発型の事業展開などを中心に論じています。

## 2. ゼミナールの主役は“学生”

本ゼミでは私の専門を学生に継承してもらうことよりも、学生が地域社会に興味を持ち、自分で課題を発見して、自発的にゼミでの学習や活動に取り組んで欲しいと願っています。できれば、“Think global”の目線や発想から、自分の地元をはじめとした地域社会を見て、行動に移せるようになって欲しいです。

そのため、本ゼミでは毎年の課題や取組の目標となるものは各学年で協議を重ねて、学生たちで選択しています。成功も失敗もすべて成長のための財産なので、私が学生らの選択や行動に制約をなるべくかけないように動めています。

## 3. ゼミの活動内容

本ゼミでは、2年次後期から学習と活動を開始しています。専門書の輪読に加え、学内プレゼンテーション大会への参加などを通じて、グループで研究することの基礎を形成しています。昨年度の2年生は「上野村における森

林資源活用の展望」、「限界集落における体験交流事業の有効性」について現地調査を行いました。

3年次では、演習Iの講義にてエコツーリズムやフィールドワーク手法などに関する専門書の学習を行っています。これらの専門学習を踏まえ、グループ研究の実施や地域での実践活動を行っています。

3年次のグループ研究では、例年秋に東京大学にて開催される全国エコツーリズム学生シンポジウムでの研究発表を目標に調査研究を実施しています。昨年は、群馬県片品村をフィールドに着地型観光の若者誘致に関して、アンケートによる若年層の意向分析や、実際のツアー企画などを行いました。もうひとつのテーマとして、高崎市の伝統野菜である国府にんじんを題材に、伝統野菜の普及と利用促進に関する研究と実践を行いました。女子学生を中心としたこの研究チームでは、市内の製パン店「日英堂」と協同開発した国府にんじんパンの企画・製作を行いました。国府にんじんパンは、イベントで販売後、現在は同店にて種類を増やして曜日限定で毎週販売しています。お近くにお寄りの際は是非ご賞味いただきたいです。

毎年、学生らがその年の研究テーマを設定し、研究活動や地域活動をデザインしていますが、先輩の取組を継承することも多いです。ひとつは毎年10月に行われる高崎市のよさこいソーラン系のダンスイベント「たかさき雷舞フェスティバル」です。すでに7年以上の関わりを持つなかで、学生らは地域の大人の方との関わりを通じて、先に記した国府にんじんパンの開発など多くのチャンスをいただいています。

そしてここ3年余りは群馬県のみやま・さと応援隊事業のご支援、(株)尾瀬ツーリスト(旧・片品村振興公社旅行部)のご指導をいただきながら、片品村における着地型観光に関する調査研究とツアー企画などの実践をしています。地域の方にご面倒をおかけすることも多いですが、学生は地域で活躍する大人の方との関わりを通じて、その思いや優しさを感じつつ、社会を知り、視野を広げる機会になっています。

# 学生クローズアップ



放送研究会 高橋誠也  
地域政策学部3年

## 自信を持って、自分にしか出来ないことを

**私**は北海道の出身です。高校時代は放送部に入っていました。自主制作のドキュメント番組やドラマ番組に夢中になり、授業の時間も使って構想を練る、そんな学生でした。年に一度の放送コンテストで賞を取ったことは今でも大切な思い出です。大学に入っても映像制作を続けたくて、放送研究会に入りました。ただ、勉強とアルバイトの両立で大学生活は思ったよりも忙しく、高校生のときほど映像制作に熱くなることもありませんでした。「大学生になったのだから、高校のときよりもっと大きなモノを作りたい」そんな入学当初の思いはどこへやら。気がつけば大学生活も折り返そうとしていました。

そんな中、大学の広報担当の方から放送研究会あてに学校紹介ビデオの制作を依頼されました。私にとって久々の大きなプロジェクト。高校のときに戻ったかのように私は張り切りました。しかし、いざ作ってみると自分の大学の魅力をわかりやすく映像化することはなかなか難しい。しかも大学側からは「学校紹介とはいえあまり固くならず、学生独自のユニークな発想」を要求されていたので、制作には思った以上に時間が掛かりました。同じサークルの先輩と夜遅くまで残って制作することもありました。いつも助けられていたこの先輩は偶然にも同じ北海道出身で高校の時は放送部だったということもあり、連日の作業は高校時代を思い出させるものでした。

広報担当の教授を交えての会議を重ね、映像のほうも段々と完成に近づいてきました。学生ならではの発想ということで大切にしていたのが「見方を変えれば短所も長所になる」ということです。例えば、高経は市街地からは離れていて車がないと少し不便なところもあるのですが、逆に考えると遊ぶ場所が少ない分勉強に集中できる、といったことです。長所を導き出すためにあえて短所をさらけ出すという学校紹介はある意味挑戦的で、学生でなければ制作出来なかったのではないかと思います。完成版の提出の時に広報担当の教授から「前作のものよりも断然良い」というコメントを頂いたときは、自分たちの作品が認められた嬉しさと同時に、ほっと胸をなでおろした瞬間でもありました。

現在、放送研究会ではネットワークラジオ「Re:c」(レック)の制作に取り組んでいます。まだまだ始まったばかりで、放送内容から録音・編集の仕方まで試行錯誤を重ねています。

最近では全国大学放送研究会ネットラジオ放送網「Radio Japan」への参加など、少しずつですが活動を広げています。「Re:c」を軌道にのせ、学内外を問わず多くの人々が聞いてくれるラジオにすることが放送研究会の目標であり、いまの私の目標です。



# 就職活動の **実**情

## 2016年卒業生より就活スケジュールが 変わりました! しかし・・・

現4年生から就職活動スケジュールが広報活動は3年生の3月から、採用活動は4年生の8月からと変更されました。(この就活時期の繰り下げ指針は、「大学生は学業を優先すべき」という政府要請に、経団連が応えたかたちで示されました。)

正式な内定日は10月以降ですが、5月1日現在、就職を希望する学生のうち約2割の学生が内定を得ているというある情報サイトの調査結果も出ています。

「エントリーしようとしたら、採用は既に終了していた」などということもないとは限りません。採用時期・採用方法は企業・業種によって多種多様です。希望する企業情報をキャッチして、乗り遅れないよう行動する必要があります。

また、複数社から内定を得ることも考えられます。内定辞退は遅くなるほど、企業には大変な迷惑をかけてしまいます。内定先は1社に絞り込み、辞退する場合は、速やかにそして失礼のないように丁寧にお願いします。



### ■主な就職先(平成26年度卒業生)

3人以上就職先を抽出

経済学部 (人数)	地域政策学部 (人数)
東日本旅客鉄道(株) 9	東日本旅客鉄道(株) 23
日本郵便(株) 7	(株)群馬銀行 7
(株)東和銀行 6	高崎市役所 7
あいおいニッセイ同和損害保険(株) 5	警視庁 5
(株)第四銀行 4	日本郵便(株) 5
高崎市役所 4	安中市役所 4
長野県信用組合 4	損害保険ジャパン日本興亜(株) 4
(株)岩手銀行 3	(株)カワチ薬品 3
(株)群馬銀行 3	(株)かんぽ生命保険 3
(株)山形銀行 3	(株)リクルート北関東マーケティング 3
(株)七十七銀行 3	(株)秋田銀行 3
(株)八十二銀行 3	(株)清水銀行 3
野村證券(株) 3	(株)東和銀行 3
	(株)八十二銀行 3
	(株)北越銀行 3
	しのみ信用金庫 3
	桐生信用金庫 3
	松本信用金庫 3
	中央労働金庫 3
	東日本電信電話(株) 3
	北群馬信用金庫 3

## ■キャリア支援センターへ相談を

キャリア支援センターでは、1年生から参加できるセミナー開催や情報提供、カウンセリングなど様々な支援をしています。自分の将来について、早い時期から考え社会に出る準備をしましょう。就職活動の相談やセミナーの予約方法など、就職活動のことで悩んだら事務棟1階西にあるキャリア支援センターへ気軽に足を運んでみてください。

## ■就職活動の流れとガイダンス予定表

1・2年生	3年生 修士1年生				4年生 修士2年生													
6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
経団連の示す企業へのガイドライン																		
自己分析																		
業界・職種・企業研究																		
選考対策																		
インターンシップ																		
セミナー・会社説明会・エントリー																		
エントリーシート提出・Web・筆記試験																		
面接																		
内々定・内定																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>話し方セミナー</li> <li>ビジネスマナー研修</li> <li>同窓会各支部による就職相談会</li> <li>話し方セミナー</li> <li>インターンシップガイダンス</li> <li>現役公務員による就職相談会</li> <li>資格取得ガイダンス</li> </ul>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>就職ガイダンス(E.S編)</li> <li>就職ガイダンス(自己分析編・企業研究編)</li> <li>同窓会各支部による就職相談会</li> </ul>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>就活実践講座</li> <li>OB・OGによる就職相談会 in 東京 / in 高崎</li> <li>対象者別セミナー</li> <li>ES対策講座</li> <li>内定者報告会</li> <li>SP1試験対策講座</li> <li>GD実践講座・練習会</li> <li>業界セミナー</li> <li>OB・OGによる模擬面接会</li> <li>合同企業説明会</li> <li>個別企業説明会</li> <li>現役公務員による就職相談会</li> <li>話し方セミナー</li> </ul>																		



## 高崎経済大学に 入学して

経済学部1年 多田 隼輔

私はこのたび大学入試という関門を突破して、晴れてこの高崎経済大学への入学を果たしました。この大学は全国様々な場所から学生が集まるので、ご当地話を聞くことができたり、人間関係を通して自らの県民性を再発見できたりして、毎日が刺激で溢れています。

大学に来て感じたことは、好きなことを学べるということの楽しさです。私は経済学部ですが、学ぶことがより深くなっていくほど経済学という学問に魅入られていくのです。これからまだまだ面白くなるかと思うと、楽しみでなりません。

私は実地でしか得られない貴重な経験を得るとともに、多くの人の関わりの中で刺激を受けたいと考え、地域政策学部生主体のDNAというNPOに入りました。積極性を向上させたい私に合った団体が選べて、本当に幸運でした。

私は自分の手札を120%活用できる人間を目指しています。その為に、この4年間で様々な経験をし、自分の在るべき姿を深く追求していきたいです。



### ■平成27年度 学部入学状況

入学区分	経済学部 (定員480人) 一般380人 推薦100人	地域政策学部 (定員455人) 一般300人 推薦95人	合計 (定員935人)
一般(推薦含む)	530 (137)	418 (173)	948 (310)
私費外国人留学生	5 (2)	20 (12)	25 (14)
社会人	0 (0)	0 (0)	0 (0)
帰国生徒	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2年次編入・転入	0 (0)	12 (7)	12 (7)
3年次編入・転入	0 (0)	21 (15)	21 (15)
計	535 (139)	471 (207)	1,006 (346)

### ■平成27年度 大学院入学状況

入学区分	経済・経営研究科 (定員24人)		地域政策 研究科 (定員25人)	合計 (定員49人)
	現代社会経済 システム専攻	現代経営 ビジネス専攻		
博士前期課程 第1期・秋季日程	0 (0)	3 (1)	3 (2)	6 (3)
博士前期課程 第2期・春季日程	2 (0)	0 (0)	5 (1)	7 (1)
博士後期課程	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	5 (1)	3 (1)	8 (3)	13 (4)

# 新 任 教 員 紹 介



経済学部 講師 向井 悠一郎

略 歴	●出身：広島県 ●最終学歴：東京大学大学院経済学研究科博士課程(単位取得退学) ●職 歴：東京大学ものづくり経営研究センター 特任助教
専門分野	生産管理論・イノベーション論
趣味・特技	乗り物(飛行機、車…)、旅行、水泳、カーブ
座右の銘	禍福は糾える縄の如し
今後の抱負	人前に出るのが苦手で、わりと大ざっぱな性格なので、自分が大学の教員になるとは想像していませんでしたし、いまだに不思議な気がしています。研究と教育を両立させるのが大学の教員だと思いますが、この2カ月でどちらもまだまだだと痛感しているところです。担当科目の内容を一言で言うと、「ものづくり」=「良い設計の良い流れづくり」です。この大学で、「良い設計(=少しでも面白い授業や研究)」の「良い流れ(=人に伝わるようにする)」を実現することをめざして、工夫して、精進していきたいと思っています。



地域政策学部 准教授 大澤 昭彦

略 歴	●出身：茨城県 ●最終学歴：東京工業大学大学院博士課程修了 博士(工学) ●職 歴：土地総合研究所研究員、東京工業大学大学院総合理工学研究科助教を経て現職
専門分野	都市計画、景観計画。特に、より良い景観や市街地環境をつくるための土地利用計画やルールのあり方を研究しています。
趣味・特技	読書、街歩き、知らない街の古書店巡り。
座右の銘	やるべきことをやるだけさ、だからうまくいんだよ/ボブ・ディラン (You do what you must do and you do it well / Bob Dylan)
今後の抱負	自分のやるべきことを地道に続けることで、地域や大学に貢献したいと思っています。

略 歴	●出身：神奈川県 ●最終学歴：東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了、修士(法学) ●職 歴：神奈川県職員(総務部、企画部、県土整備部) 公益財団法人地方自治総合研究所 常任研究員
専門分野	地方自治論、公共政策、行政学。地方分権改革、地方創生、官から民への規制改革、市場経済の構造改革の流れの中で、自治体の現場がどのように動いているか、状況把握に努め、現場を重視した研究を行っています。
趣味・特技	旅行、音楽鑑賞、スポーツ観戦、飲み会、カラオケ
座右の銘	何事にも全力投球して、明るく、楽しい毎日を過ごす!!
今後の抱負	学生との交流を大切に!! 目標に向かって学生とともに楽しい大学生活を過ごす。



地域政策学部 准教授 岩崎 忠

略 歴	●出身：神奈川県 ●最終学歴：一橋大学大学院 ●職 歴：民間シンクタンク勤務の後、福島大学などを経て現職
専門分野	専門は地域社会学(と地域政策)です。より具体的には、基礎自治体における行政と住民の相互行為に焦点を当てながら、地域レベルのガバナンスやそれに影響を及ぼしている国・地方関係をみています。
趣味・特技	ごく最近、自転車に乗ることを覚えました。「サイクリングが趣味」とまでは言えませんが…。特技はマンドリンという楽器が弾けること?国内では数少ないプロのレッスンを受けていたことがありますが、劣等生でした。
座右の銘	「一期一会」と、昔の上司に言われた「人間は人生で常にベストの選択をしている」という言葉。
今後の抱負	まずは、大学の皆さん(学生、先生、事務員の方々)とできるだけ多く知り合うこと。ほかにも色々ありますが、ここに来てからずっと不思議に思っている「高崎の街には飲食店が多いが、純粋な食事処が少ないのは何故か?」という問いを解明することでしょうか。



地域政策学部 准教授 佐藤 彰彦



地域政策学部 教授 齋藤 康輝

略 歴	青森県出身。日本大学法学部卒業。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。政治学修士(早稲田大学)。早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程退学。その後、多くの大学で教鞭を執り、2004年から岐阜県の大学に勤務(朝日大学法学部・大学院法学研究科教授)。2008年~2009年、ドイツ連邦共和国ゲッティンゲン大学法学部客員教授。
専門分野	憲法、比較憲法。とくに、ドイツ連邦共和国基本法第21条の政党条項および世界各国の政党法について研究しています。
趣味・特技	旅行。エコバッグ収集。特技は、血液型相性占い。
座右の銘	古鏡照心。古い鏡というのは、故郷でもいいし自分のルーツと考えてもよいでしょう。鏡に映った自分自身としっかり向き合って、なにか新しいことにチャレンジしたいです。
今後の抱負	私の仕事は、憲法について少しでも多くの学術情報を発信することに尽きます。学生はもちろんですが、その他にも大勢の市民のみなさんと接し、「知憲」のお手伝いができることに生きがいを感じます。



地域政策学部 准教授 八木橋 慶一

略 歴	●出身：鳥取県 ●最終学歴：関西学院大学大学院人間福祉研究科博士後期課程単位取得退学 ●職 歴：神戸医療福祉大学社会福祉学部専任講師を経て現職
専門分野	社会的企業論、福祉行財政論
趣味・特技	趣味は読書です(平凡ですが)。何の予定もない日に喫茶店で読書するひと時が一番落ち着きます。最近はそのような日が少ないのが悩みの種です。仕事帰りにぶらりと居酒屋に行き、ゆっくり飲むのも好きです。
座右の銘	「勝に不思議の勝あり、負に不思議の負なし」出典は剣術書(松浦静山『常静子剣談』)からですが、プロ野球の野村克也監督で有名になった言葉です。うまくいかない時は理由があるものです。きちんと準備してから物事に取り組む大切さを教えてくれる言葉です。
今後の抱負	専門分野である社会的企業について、よりわかりやすく伝えられるように研究・教育に励みたいと思います。また、赴任するまでずっと西日本在住でした。これからは、群馬・高崎に詳しくなりたいと思います。

## 高崎経済大学部局長等

平成27年4月1日現在

新職名	氏名
副学長(教育担当)兼 教育環境整備室長	田中 久夫 教授
副学長(研究担当)兼 知的拠点化推進室長	村山 元展 教授
学生部長	関根 雅則 教授
経済学部長	阿部 圭司 教授
地域政策学部長	佐藤 公俊 教授

新職名	氏名
地域政策研究科長	増田 正 教授
経済・経営研究科長	唐澤 達之 教授
経済学部教務担当学部長補佐	山森 哲雄 准教授
経済学部入試担当学部長補佐	久宗 周二 教授
地域政策学部教務担当学部長補佐	友岡 邦之 教授
地域政策学部入試担当学部長補佐	熊澤 利和 教授

新職名	氏名
広報室長	矢野 修一 教授
図書館長	高松 正毅 教授
情報基盤センター長	津川 康雄 教授
国際交流センター長	櫻井 常矢 教授
キャリア支援センター長	平井 裕久 教授
地域科学研究所長	西野 寿章 教授

新職名	氏名
経済学科長	中野 正裕 准教授
経営学科長	藤本 哲 教授
経済学部教養教育長	名和 賢美 准教授
地域政策学科長	新田 浩司 教授
地域づくり学科長	坪井 明彦 教授
観光政策学科長	小牧 幸代 教授

# 倶楽部紹介

Club Introduction

◆体育会 no.76

## 水泳部

地域政策学部2年 栗原 葵

我々水泳部は1958年に創部しました。現在は、スウィン高崎スイミングスクールのプールを利用し活動しています。活動としては、火・水・金曜日の朝練、月・木曜日の昼練を行い、大会に参加しています。またそれ以外にも、秋合宿や他大学との合同合宿など様々な活動・行事を行っています。

水泳部の特徴としては、水泳初心者から全国大会レベルの部員が在籍していることです。また、監督やコーチといった方はいませんが、水泳経験のある部員を中心に練習メニューを考え、和気あいあいとした雰囲気の中、部員一人ひとりのレベルにあった練習を行っています。

昨年度は、多くの部員が自己ベストを更新し、その結果6名の部員が全国国立選手権の標準記録を突破し、更に1名の部員が日本学生選手権の標準記録を突破することができ、飛躍の年になりました。

今年度は男子5人、女子4人の計9名を新入部員として迎え、現在選手32名、マネージャー10人の計42名で活動しています。例年に比べて新入部員の数は少なくはなりましたが、一人一人が個性的で今後の活躍が期待できる部員が勢ぞろいです。

今年度は「北関東五大戦」という我々水泳部が毎年力を入れている大会の優勝をチーム目標として掲げ活動しています。今後も、部員一丸となり昨年、一昨年以上の成績を残せるよう日々の練習を全力で取り組んでいきたいと考えています！



◆文化サークル協議会 no.77

## グリークラブ

地域政策学部3年 風間 洋佑

私たちグリークラブは、楽器を使わず声だけで音楽を奏でるアカペラサークルです。今年度は新入生が34名入部し、総勢68名になりました。活動内容としては、5〜6人でグループを組み、練習日を決めサークルライブや様々なイベントに向けて練習に励んでいます。全体の活動としては、毎週火曜日に部会を行っています。また合宿もっており、普段グループを組んでいない人たちと組んで演奏するなどサークル員どうしの交流を深めています。

三扇祭では図書館前の特設ステージで毎年30分程ライブをさせてもらい、年々足を止めて聴いてくださる方も増えてきていて、知名度も徐々に上がってきているのかなとうれしく思っています。

グリークラブはサークル内にとどまらず群馬県内の大学とも交流し、合同アカペラサークルJust As!!を立ち上げ合同ライブを企画したり、他県のアカペライベントに参加したりするなど活発に活動しています。8月の終わりに石川県で開催される金沢アカペラタウンには、多くのサークル員が旅行もかねて全国から集まったアカペラグループの演奏を聴きに行き、中には音源審査で合格し出演者として参加するグループもいます。

サークル活動以外でもサークル員同士でご飯に行ったり、遊びに行ったりするなどとも仲のいいアットホームなサークルです。入部は毎日いつでも大歓迎です。興味のある方はご連絡ください。Twitterのフォローをお願いします。(@gleclub\_tcue)



# たがけい



## INFORMATION

### 就職支援

#### キャリア支援センターからのお知らせ

キャリア支援センターでは、就職支援・キャリア形成のため様々なガイダンスや講座を開催しています。主に3年生が対象ですが、1年生から参加できるセミナーもあります。積極的な参加お待ちしております。

●お問い合わせ＝キャリア支援センター 電話027-344-6263

6/29(月)・7/1(水) 17:45～	FM ぐんまによる話し方セミナー 全3回(月曜・水曜コース)
9/30(水) 17:45～	就職ガイダンス①「自己分析のやり方」
10/7(水) 17:45～	就職ガイダンス②「SPI 性格検査の結果分析からみる業界研究」
10/14(水) 17:45～	辻太一朗先生の特別企画講座—学生の成績を企業はどう見ているか?
10/21(水) 17:45～	就職ガイダンス③「企業研究のやり方」
10/26(月) 17:45～	ビジネスマナー研修
10/28(水) 17:45～	就職ガイダンス④「エントリーシートの書き方」
11/11(水)・11/18(水) 17:45～	女子学生向けセミナー 全2回
11/12(木) 16:00～	東京証券取引所による業界研究セミナー
11/21(土)終日	OBOGによる就職相談会 in 東京
11/17(火)・11/19(木) 17:45～	「就職活動実践講座」全5回(火曜・木曜コース)
11/24(火) 17:45～	留学生向け就職セミナー
11/25(水) 17:45～	Uターン志望者向け就職セミナー
11/26(木) 17:45～	公務員志望者向けセミナー
11/30(月)～12/4(金) 12:10～	業界セミナー

### リレー講義

- 開講日時 2015年4月8日から2016年2月3日までの毎週水曜日 午後2時20分から午後3時50分まで
- 場所 高崎経済大学 7号館 731番教室 (入口4階) 高崎市上並榎町1300番地
- 受講料 無料
- 参加方法 事前申込は不要です。当日、直接教室にお越しください。
- 問合せ先 高崎経済大学事務局教育グループ教務チーム 電話 027-344-6264 (教育グループ直通)

回	開講日	講義テーマ	講師
1	4月 8日	オリエンテーション	東和銀行 常務執行役員 国際部長 山東 尚志
2	4月15日	銀行制度の歴史と地域金融機関	東和銀行 経済研究所長 飯野 敦
3	4月22日	金利のメカニズムと外国為替	東和銀行 常務執行役員 国際部長 山東 尚志
4	5月13日	中小企業と地域金融機関	東和銀行 常務執行役員 浦和支店長 富澤 聖
5	5月20日	経済政策・景気循環と地域金融環境①	東和銀行 代表取締役頭取 吉永 國光
6	5月27日	経済政策・景気循環と地域金融環境②	吉永 國光
7	6月 3日	少子高齢化と地域金融機関	東和銀行 経済研究所長 飯野 敦
8	6月10日	成長戦略と地域金融機関	飯野 敦
9	6月17日	グローバル化の現実と地域金融機関	東和銀行 代表取締役頭取 吉永 國光
10	6月24日	地域社会と地域金融機関	東和銀行 取締役常務執行役員 江原 洋
11	7月 1日	地域のグローバル化と国際戦略	東和銀行 常務執行役員 国際部長 山東 尚志
12	7月 8日	地域金融機関の統合リスク管理	東和銀行 統合リスク管理部長 関 智
13	7月15日	地域金融機関の企業再生	東和銀行 審査管理部長 和佐田 高久
14	7月22日	女性の職場としての地域金融機関	東和銀行 執行役員 職員研修所長 伏嶋 登志子
15	8月 5日	総括として 一よき国際人になるために	東和銀行 代表取締役頭取 吉永 國光

### 後援会

#### 平成26年度TOEIC成績優秀者表彰

TOEIC公開テストで700点以上を獲得した学生に賞状及び記念品を贈呈しました。平成26年度の表彰者は以下の方々です。おめでとうございます。

最優秀賞 800点以上 (学年は2014年度)	優秀賞 700点以上 (学年は2014年度)
磯貝 崇文さん 地域政策学部4年	前島 由和さん 経済学部4年
田嶋 鮎香さん 地域政策学部4年	黒澤 寛之さん 地域政策学部4年
田中 伽奈さん 経済学部3年	島山 奨さん 経済学部3年
松井 太一さん 経済学部3年	木村 裕希さん 地域政策学部3年
喬 忠智さん 経済学部3年	櫻井 洋輔さん 地域政策学部3年
海 光さん 経済学部3年	中村 聖人さん 地域政策学部3年
馮 晴雪さん 経済学部3年	井口 佳則さん 経済学部2年
東野 万美さん 地域政策学部3年	高田 陽平さん 経済学部2年
牧野嶋千晴さん 経済学部2年	板垣 吉顕さん 経済学部1年
他2名	佐野 太朗さん 経済学部1年
	橋本 真奈さん 経済学部1年
	松田 陽佑さん 経済学部1年
	丸山 智丈さん 経済学部1年
	他2名

※現在、今年度分の申請を受け付けています。表彰を希望する方は平成28年2月29日までに申請書を提出してください。



## 高経大後援会学生奨学金について

本学学生の学業と生活支援を目的とした奨学金制度です。奨学金給付額は授業料の3分の1相当額です。対象者は授業料減免申請対象者の中から、特に成績優秀な学生を事務局で推薦します。

## 合宿などにご利用ください。

### ◆保養所利用可能施設

施設名	連絡先
ゆうすげ元湯	027-374-9211
レークサイドゆうすげ	027-374-9131
はまゆう山荘	027-378-2333

上記3施設へ宿泊を希望する学生に対し、保養所利用助成券を発行しています。●助成額＝4,000円 ●利用資格＝本学在学学生

### ◆厚生施設

施設名	連絡先
高経会館	027-344-1521
白馬セミナーハウス	0261-71-1164

教員、学生、同窓会員等の皆様を対象とした宿泊・研修施設です。

### ●お問い合わせ＝

後援会事務局(キャリア支援チーム内):電話027-344-7902

## 高校生向けイベントのお知らせ

### オープンキャンパスを開催します

オープンキャンパスは、本学に興味をもっている高校生やその保護者などを対象にキャンパスを開放するイベントです。大学の教育方針などの説明や模擬授業、ゼミ展示などを行っていますので、ぜひ、お越しください。

- 期日＝7月19日(日)、8月9日(日)

- 時間＝10時～15時30分(9時30分から受付開始)

- その他＝高崎駅から臨時バスを運行しますので本学ホームページをご覧ください



### 県外進学説明会の開催について

本学への志願者が多い道県の受験生などを対象に、本学の説明や入試に関する個別相談などを本学主催で行います。

日時	開催都市名	会場名
7月12日(日) 14時～16時	長野市	JA長野県ビル
7月25日(土) 14時～16時	水戸市	水戸プリンスホテル
9月 5日(土) 14時～16時	宇都宮市	栃木総合文化センター
9月27日(日) 9時30分～11時30分	金沢市	金沢都ホテル
10月 4日(日) 9時30分～11時30分	仙台市	JAL シティ仙台
10月17日(土) 9時30分～11時30分	札幌市	札幌全日空ホテル

### 一日大学体験DAY

本学で実際に行われている授業を現役学生と一緒に受講し、大学の日常を体験します。大学案内やホームページからの情報だけでなく、自ら体験することで、本学が自身にとってより良い学び場であるかを確認できます。

- 期日＝7月20日(月・祝)、10月28日(水・群馬県民の日)、11月13日(金・茨城県民の日)

- 対象＝高校生(既卒者含む)、保護者、教育関係者

各イベントの  
お問い合わせ

企画調整室入試チーム:電話027-344-6265

## 図書館

### 利用者サービス内容が変わりました (学部生対象)

平成27年度から、図書の貸出冊数の上限が引き上げられました。

今まで一度に借りられる図書は7冊まででしたが、10冊まで貸出が可能で、また、ILLサービス(文献複写・相互貸借依頼)も年間6,000円まで無料でご利用いただけるようになりましたので、学習・研究の資料がより手に入れやすくなります。たくさんのご利用をお待ちしています。

### 館内配置変更のお知らせ

書架の増設に伴い、館内スペースの配置が変更されました。

4階にあったコンピュータ室および5階にあった新聞バックナンバースペースが、それぞれ2階に配置換えとなりました。

2階コンピュータスペースには、学生専用のノートパソコンが20台設置されました。ご自由にご利用いただけますが、プリントアウトは印刷専用端末からとなります。ご不明な点は図書館員までお問い合わせください。

- お問い合わせ＝研究グループ図書館チーム:電話027-344-6266

## 同窓会支部総会のお知らせ

今年度各地で開催される、同窓会支部総会の今後の予定をお知らせします。出身県、近県の方はぜひご参加ください。在校生も大歓迎です。

- お問い合わせ＝学生支援チーム(同窓会事務局):電話027-344-6262

支部	開催日	開催場所・時間
桐生支部	4月25日(土)	四辻の斎嘉 17:00～
栃木支部	7月11日(土)	ホテルサンルート佐野 17:00～
高知支部	7月18日(土)	料亭旅館 臨水
石川支部	8月22日(土)	未定
三重支部	8月29日(土)	たちばな安島本店 17:00～
富山支部	8月29日(土)	自遊館
愛媛支部	8月29日(土)	松山全日空ホテル
新潟支部	9月 6日(日)	未定
オホーツク支部	9月26日(土)	北見プラザホテル 18:00～
宮城支部	10月 3日(土)	ホテル法華クラブ
札幌支部	10月16日(金)	京王プラザホテル札幌 18:30～
関西支部	11月 7日(土)	未定
飯田支部	未定	未定
岩手支部	未定	未定
四国合同支部	未定	未定
大分支部	未定	未定

## 学生数

### ●経済学部学生数

1年	2年	3年	4年	計
548 (140)	531 (148)	479 (126)	594 (137)	2,152 (551)

### ●地域政策学部学生数

1年	2年	3年	4年	計
438 (185)	456 (161)	488 (180)	568 (212)	1,950 (738)

### ●経済・経営研究科学生数

前1年	前2年	後1年	後2年	後3年	計
5 (1)	7 (3)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	14 (4)

### ●地域政策研究科学生数

前1年	前2年	後1年	後2年	後3年	計
8 (3)	14 (6)	0 (0)	3 (1)	4 (2)	29 (12)

※( )内は女性数:2015年6月現在

## 今回の表紙



### 図書館屋上からの風景

「おはよう」

新緑と、やさしい陽光と共に、その一言で私の一日がはじまっていく。

撮影:写真部 地域政策学部3年 中村拓洋くん